

川崎縦貫道路計画調整協議会（第２２回幹事会）議事概要

■日 時 平成１９年８月１０日（金）１０時～１１時

■場 所 川崎市役所 第３庁舎１８階 大会議室

■出席者 国土交通省関東地方整備局、神奈川県、川崎市、
首都高速道路(株)、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)

■主な内容

○国土交通省より、国道４０９号の国道１５号～川崎大師駅間の街路整備計画について説明。

□本計画は、沿線住民の意見を聴きながら検討した。

歩行者の安全に配慮し、歩道には幅広い植樹帯を設けるとともに、自転車通行帯を設ける。

□今後、順次工事に着手していく予定。

○会議の結果、国道４０９号の街路整備計画は了承された。

○首都高速道路(株)から専用部の高速川崎縦貫線の工事進捗状況について報告。

□殿町～大師ＪＣＴ間の本線トンネル工事において、トンネル内の漏水の発生への対応、地元沿道環境への配慮（施工時間・施工方法の見直し）等が必要となった。このため工事進捗に遅れが生じており、予定通りの完成は困難な状況にあり、完成が２年遅れる見込み。今後、トンネルの専門家の意見を頂きつつ、対策を進めるとともに、工事の遅延を短縮できるよう努めていく。

□大師ＪＣＴに整備する横浜方向出入口は、予定どおり平成２０年度に開通し、川崎市臨海部と横浜市中心部のアクセス強化、横羽線浅田出入口と周辺一般道路の渋滞緩和を図る。

○会議の結果、殿町～大師ＪＣＴ間の開通遅れについて次の事項を確認。

□今後の川崎縦貫道路の計画調整にあたっては、専用部の完成が遅れる見込みであることを踏まえ調整を行うこととする。

○神奈川県及び川崎市から首都高速道路(株)に対して、以下の要請があった。

□完成が遅れることに対して沿道住民の方々の理解が得られる様、十分な説明に努めること。

☐工期の短縮や、工事による周辺への影響の軽減に努めること。

○国土交通省から首都高速道路(株)に対して、以下の要請があった。

☐徹底したコスト縮減を行いつつ、一日も早い供用ができるよう努めること。

○神奈川県及び川崎市から国土交通省に対して、以下の要請があった。

☐川崎縦貫道路Ⅰ期事業の大師ジャンクション以西を早期に整備するためにも、Ⅱ期計画の早期具体化を図ること。

○その他、ETC車を対象とした料金割引社会実験について、首都高速道路(株)から距離別料金社会実験、東日本高速道路(株)から東京湾周辺地域料金割引社会実験の実施について報告。

＜料金割引の例＞

☐ 8月19日から首都高の日曜祝日は利用距離に応じ、
3割～1割引

神奈川線 8km未満 普通車 600円を420円に

☐ 8月20日から、東京湾アクアラインの通勤時間帯割引
普通車 現在2,320円を1,500円へ

☐ 9月25日から、東京湾アクアラインを利用する特定ICの交通を
終日割引。

普通車 浮島IC～成田空港間

4,820円を2,850円に。1,970円引